

令和4年 第2回

仙北市教育委員会定例会会議録

令和4年2月17日

仙北市教育委員会

## 令和4年 第2回 仙北市教育委員会定例会会議録

1 開会宣言 令和4年2月17日（木） 午前9時30分

2 場 所 西木総合開発センター 2階 集会室

3 出席委員

教育長	須田 喬
教育長職務代理者	坂本 佐穂
委員	橋本 勲
委員	細川 伸也
委員	田口 桂一郎

4 出席した事務局職員

教育部長	藤原 眞栄
教育次長兼学校教育課長	鈴木 徹
教育次長兼角館公民館長	佐々木 信介
教育総務課長	湯澤 満
学校教育課参事	田口 真吾
北浦教育文化研究所長	伊藤 昭光
総合給食センター所長	草彅 直子
生涯学習課長	武藤 寛幸
中央公民館長	高橋 良宣
田沢湖公民館長	真崎 智明
市民会館長兼田沢湖図書館長	信田 昌史
学習資料館・イベント交流館長	松橋 幸太郎
平福記念美術館長	小松 亜希子

5 議事

(1) 議案審議

議案第7号 仙北市社会教育委員の委嘱について

議案第8号 令和4年度仙北市一般会計予算の教育費について

(2) 報告事項

報告第3号 仙北市教育行政報告について

報告第4号 仙北市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部を改正する要綱制定について

6 審議の経過及び結果

(須田教育長)

ただいまから、令和4年第2回仙北市教育委員会2月定例会を開催いたします。

それでは、本定例会の出席委員、職員を紹介いたします。

－出席委員、職員を紹介－

会議書記には齋藤係長と泉主事を任命いたします。署名員については、私と委員からは細川委員を指名します。前回会議録の承認についてですが、定例会終了後、田口委員におかれましては、署名をいただきますのでよろしくお願いいたします。

本日は、私の方からは二つ報告させていただきます。

1点目が神代小学校におけるコロナ感染についてです。2月2日水曜日に児童1名が感染したことが判明しました。学校医が休業のため、市川先生に相談し、人流を絶つという理由で日曜日まで学校を閉鎖することにしました。保健所からは、当該学年が濃厚接触者であるとの報告があり、2月8日まで学年閉鎖としました。幸い、家族と当該学年児童全員陰性であったので、当該学年以外は月曜日から当該学年は水曜日から再開としております。この間、当該学年にはタブレットを配付し、学校とオンラインで結んで健康観察を中心に子どもと交流しました。また、3日の朝一番に市内の校長を集め、臨時の校長会を実施しました。そこでは、今後の各学校の行事の中止、縮小、延期を確認するとともに、スポーツ少年団や部活動を20日まで休止することを伝えました。これにより、PTAや校内行事が延期されたり中止になった学校もあります。また、今後の対応として、県内の学校の感染状況を鑑みた場合、まずは、全校を休校とし、人流を絶ち、保健所からの感染状況の報告をまってその後の対応を進めていくことを確認しました。

2点目が、市内小中学校の統合問題についてです。1月25日に白岩小学校の評議委員会に参加し、仙北市の現在の子どもの数や出生数、学校の劣化の現状、さらに白岩地区の現状と今後の適正配置に向けたスケジューリングについて説明してきました。評議委員の方々からは、白岩中学校と角館中学校の統合時の様子や地区における白岩小学校の重要性が指摘されました。しかし、保護者代表2人からは早く統合に向けて動いた方がよいのではないかという提案もありました。私の方からは、5年後には方向性を出したいが、保護者からの要望が強ければ統合を加速させることも可能と報告させていただきました。最後に、評議委員会の総括として、「一番大切なのは今、子育てをしている保護者の意見である。白岩中と角館中の統合時には、親もじいさん、ばあさんも反対したが、今考えると統合してよかったと思う。だから教育委員会も子育て世代の意見を重視してほしいし、いろいろな反対はあるだろうが、統合を前向きに考え、ぶれずに突き進んでほしい」という旨の激励の言葉をいただきました。

今日は、この後鈴木次長が、各学校で説明するプレゼンを委員の皆様にご覧いただきます。

私からは、以上です。

次に教育長の報告についてです。

－資料により報告－

ここまでで何かご質問等ありますか。

－質問なし－

次に、議案審議に入ります。議案第7号仙北市社会教育委員の委嘱について、事務局お願いします。

(武藤生涯学習課長)

現在の社会教育委員の任期が今週末の令和4年2月19日までとなっております。新しい社会教育委員選任の準備を進めているところです。委員の定数は15人で、15人中11人の方々が再任となりましたので、4人が新規となります。資料の2ページに名簿がありますけれども、その中のNo.1番、11番、12番、15番が新任となります。この4人の新任の内、No.15番になりますけれども、例年校長会から1人推薦をいただいておりますが、15番の方が校長会の推薦になります。他の3人については、退任される方々からは、

推薦等ありませんでしたので、こちらの方で連絡をさせていただいたということになります。退任された方々の属性といいますか、例えば退任をされた方がもともと保育士をされていたとか、社会教育委員になる際にスポーツ体育部会の関係の方々が多かったのも、そういった関係で社会教育委員をお願いしたところでもあります。1番の菅原さんに関しては、現在スポーツ推進員をされている方ですけれども、そういった体育部会関係の知見、または職業が住職さんということもあり、お声がけさせていただいたものです。11番の草薨さんは、元々保育士で園長さんをされていた方でして、そういったことでこちらからお声がけさせていただいたものです。最後に12番は、障害者の生涯学習といいますか、そういったものの協力体制がなかなか築けずにいたところですが、近年せんぼく校も含めて、関わりが増えてきたところでありまして、そういった背景もあって、愛仙さんの方にご相談したところ、ご協力いただけるような話になりましたので、令和4年2月20日からの新しい社会教育委員の案として、このような形になっていますので、ご審議の程よろしく申し上げます。以上です。

(須田教育長)

武藤課長から説明がありましたけれども、ご質問ありますか。

－質問なし－

(須田教育長)

議案第7号について、承認といたします。新任の方も入れて、15名を社会教育委員に委嘱したいということで案を進めてください。ありがとうございました。

(須田教育長)

次に議案第8号令和4年度仙北市一般会計予算の教育費について、事務局をお願いします。

(藤原教育部長)

令和4年度新年度予算について、前回の定例教育委員会でも要求ベースということでご説明させていただきました。査定が終わりまして、確定ベースの提案になります。ただ、残念なことに財政がかなり厳しいということで、新規の事業はほとんど削られてしまいました。今回ご説明するのは、令和4年度の主要事業予算に絞ってご説明させていただきますので、よろしく申し上げます。

(湯澤教育総務課長)

教育総務課です。資料の4ページをご覧ください。歳出の下の方ですけれども、学校適正配置関係事業費ということで掲載しておりますけれども、こちらの方は教育委員会内に学校適正配置準備室というものを令和4年度から設置して、予算としては会計年度職員1名分の予算などを計上しております。以上です。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

学校教育課です。主な点を2点ほど、説明させていただきます。6ページをご覧ください。10款1項2目の真ん中から下の方にある修学旅行費支援事業費補助金についてです。今年度から小規模校に対しての補助事業ということで、田口委員の方からご助言ありまして、来年度の予算に計上いたしました。

続きまして、8ページをご覧ください。下の方にありますが、10款3項2目の中学校部活動指導員配置事業というものがあります。こちらは、部活動指導員を配置して外部指導者ですが、その方々に部活動を手伝っていただき、そしていくらかですが、報酬を払うというものです。今のところは、角館中、神代中、桧木内中、各2名ずつの6名を予定しています。なお、小中の体育館のLDE化、それからトイレの洋式化に関しましては、残念ながら見送られてしまいました。財政課からの指導もありまして、ぜひ令和5年度に盛り込まれるように何度も何度もお願いしたいと思います。私からは以上です。

(伊藤北浦教育文化研究所長)

北浦では、二つお話しさせていただきます。9ページになります。10款1項5目の上から2番目、学校教育バックアップ事業ですけれども、これは地域の行事を学校で学んでもらえる事業になっております。地域学校協働推進員が活躍する場にもなっております。どうしても報償単価が少なかったものですから、来年度から少しアップしての予算が通りました。

それから、下から2番目富士河口湖子ども交流事業費についてです。これは、コロナ感染症のため、2年間中止になっておりましたけれども、来年度も感染状況を見極めての実施になりますけれども、ぜひ来年度は実施したいなと思っております。以上です。

(草薨総合給食センター長)

資料10ページをご覧ください。総合給食センターの令和4年度の予算になります。令和4年度新規の事業はありません。令和3年度と同様の予算要求をし、予算をつけていただきました。説明は以上となります。

(武藤生涯学習課長)

生涯学習課です。資料は11ページになります。歳出の一番上の一般総務費です。対前年比885,000円の増です。内訳として、令和5年度から実施機関となる第4次社会教育中期計画の策定にかかる費用として、会議の出席や謝礼や旅費、計画の冊子の作成などで750,000円となっております。あとは、来年度秋田市で開催される社会教育主事講習に職員を参加、派遣する費用として、旅費など15万円が、この2つが昨年度の予算にないものとして予算計上されているところです。

歳出の真ん中あたりにあります地域学校協働本部事業費です。予算としては、33万円くらい減になっていますけれども、今年度からこの事業を進めることを主目的として、県から社会教育主事を派遣してもらっていることもありまして、事業自体は着実に進んでいます。令和4年度においても各学校、地域と足並みをそろえて事業が着実に進むように進めていくものです。以上です。

(高橋中央公民館長)

続きまして、13ページ、14ページ中央公民館の当初予算関係です。3館、田沢湖公民館、角館公民館を含めまして、歳入歳出の予算になっております。歳出部門では、花いっぱい運動推進事業費ですけれども、事業の見直しがありまして今回は事業費がついておりません。

続きまして、中央公民館管理運営費の中の角館公民館の部分ですけれども、工事請負費が増額となっております。こちらは東地区公民館のグラウンドの電源移行工事、こちらが190万程、それから東地区公民館の体育館の屋根の防水シート、屋根の補修事業に700万程付いております。それから中央公民館の事業ですけれども、桧木内公民館のPCB交換ということで、電気関係の補修になります。それから花いっぱい運動に関しまして、国道の維持補修、草刈り等の事業費が花いっぱいには付かなかったのですけれども、こちらの中央公民館にまとめて55万程付いておりますので、併せまして920万程の増額となっております。その他は例年通りとなっておりますので、以上で説明を終わらせていただきます。よろしく申し上げます。

(佐々木教育次長兼角館公民館長)

続きまして、角館公民館小野崎家分になります。資料15ページをご覧ください。歳出の工事請負費が5,993,000円になります。こちらの方は、電話配線、ネット配線をADSLから光回線への乗り換え工事となります。以上です。

(信田市民会館長兼田沢湖図書館長)

16ページ、市民会館になります。主な事業の予算といたしまして、歳出の管理運営費になります。備品購入費2,895,000円がありますが、こちらは今年の11月の電

波法改正を受けて、市民会館にあるワイヤレスマイクが使用できなくなりますので、そちらを更新する備品購入費となっております。続きまして、市民会館の施設整備事業費といたしまして、市民会館の冷却塔のファンモーターの修繕を行うものです。以上です。

続きまして、17ページ田沢湖図書館です。管理運営費になります。暖房のファンコイルの取替工事とエアコンの室外機の転倒防止対策工事といたしまして、1,265,000円となっております。ブックディテクション導入事業費といたしまして、こちら開架図書分のタトルテープとなっております。ブックディテクションというのは、入り口の両サイドにある、外に持ち出すと音が鳴るものです。まだ導入していないのですが、導入する前に本の中に磁気を入れまして、そちらを3年ほどで整備いたしまして、それが整備できましたら、ブックディテクションを導入したいと思っております。以上です。

(松橋学習資料館・イベント交流館館長)

学習資料館、イベント交流館です。18ページになります。主なものといたしまして、歳出の学習資料館管理運営費のところで、図書除菌機購入事業ということで、120万のものですが、これを購入しようと思っております。これは、本の消毒をするものでございまして、現在も学習資料館にあるのですが、来年度途中でリースが切れる関係で、今のものが2冊しか消毒できないのですが、今度買う物は6冊一挙に消毒できるもので、5~6年リースするのと同額の額で買えるものですから、購入という形にいたします。学習資料館、イベント交流館は以上です。

(小松平福記念美術館長)

美術館、19ページになります。主なものですが、歳出について管理運営費で約180万の増となっておりますが、こちらは燃料費の単価が上昇したことによる増額と庭園内の木立剪定業務委託料を計上し、庭園の草刈り業務委託料を計上したことによる増額になります。また長年使用している館の電話機をナンバーディスプレイタイプのものに変更する予算を計上したことによる増額になっております。以上です。

(須田教育長)

委員の皆様にご提案いただいた事業や予算について、予算が付いたものや付かなかったものがあるのですが、また次年度もその事業ができるように再度、財政と協議していきたいと考えております。何か今回の予算についてご意見やご質問はありますか。

(細川委員)

学校教育課から先程説明していただきました中学校部活動支援員の配置事業についてですけれども、指導員の方というのは、これから決まるのでしょうか。もう決まっておりますか。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

これから募集をかけます。

(細川委員)

分かりました。ありがとうございます。

(橋本委員)

花いっぱい運動についてですけれども、先程道路花壇の草刈りはやってくださるというお話だったので、堂村と西荒井にある大きな道路花壇と花苗の植栽、そちらはどうなるのですか。

(高橋中央公民館長)

花の植栽に関しては、予算が取れておりません。草刈り関係、道路占用の関係がありまして、草刈り等を数回行う予算はつきましたけれども、植栽に関しまして、予算の範囲内で費用の目処が付けばできるかもしれませんが、現在のところは、草刈り除草できっちりと管理をしていくという部分のみ予算を計上しております。

(橋本委員)

西木村時代の花いっぱいなんですけれども、昭和44年の学社合同研究会のときに花いっぱい推進運動ということで決定されて、その後50年以上継続してきたわけです。いろいろ事業というのは、当然見直しが必要ということで、今回そういうことになるということなんですけれども、西木村時代、マリーゴールドは村の花にして、確か7月の第1日曜日を花の日に指定してフラワーロードの斉植栽を小中学生の協力をいただいて住民の皆様と一緒にやってきた経緯があります。そういうこともありますので、今回見直しになったということを何かの機会に皆さんにお知らせして、これからはこういう形でやっていきますということを伝えていただけるように、どうかよろしくお願ひしたいと思います。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。その他ありますか。

－異議なし－

議案第8号は承認ということでよろしいでしょうか。

－異議なし－

議案第8号について、承認いたします。ありがとうございます。

次に報告事項に入ります。報告第3号仙北市教育行政報告について事務局お願ひします。

(藤原教育部長)

先日、議会で報告させていただきました教育行政報告について、ご説明いたします。資料は22ページになります。学校教育課関係で先程教育長からの報告もありましたとおり、神代小学校の斉休校と学年閉鎖に関して報告させていただいております。次に総合給食センターですが、今年度行った事業の中で、12月から2月までの間、小中学校の最高学年を対象にスペシャル給食を実施しておりましたので、その件に関しての報告をさせていただきます。生涯学習課からは、お亡くなりになりました梁田純一郎さんなんですけれども、日本スポーツ少年団の方から感謝状が進呈されております。そのことについてご報告させていただきます。公民館関係です。例年行われておりました新春書き初め大会で今年度もコロナの関係で一斉に集まって書き初めをするというのは中止にさせていただきました。その代わりとってはなんですけれども、書き初め作品展というものを、作品を募集しまして、50点の作品が応募されました。1月6日から20日まで平福記念美術館で展示させていただいております。学習資料館、イベント交流館です。毎年恒例で行われています読書感想文コンクールですけれども、昨年度よりも多い109点の応募がありまして、その審査が行われ、27名の入賞者が決定いたしました。今回の資料で別紙1枚もので、その結果については、お渡ししておりますので、後ほどご覧いただければと思います。以上、議会で報告させていただいた教育行政報告でした。

(須田教育長)

何かご質問はありますか。

－質問なし－

(須田教育長)

なければ、報告第4号仙北市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部を改正する要綱制定について、事務局お願ひします。

(武藤生涯学習課長)

報告第4号についてです。地域学校協働活動推進員は基本的には、継続をして取り組んでもらっているところです。継続して取り組んでもらうことが効果的であることから、継続をお願いしているんですけれども、国の補助事業の関係上、毎年1年ごとに委嘱をしなければならぬような事務手続きになっております。委嘱をする際には、例えば関係の学校長の推薦であったり、公民館の推薦であったりとか、それぞれ協議を重ねることが約

束事になっておりました、形式的なものであっても事務量が多いという現状がありましたので、継続される推進員に関しては、事務手続きを簡素化するために、要綱を改正したものです。以上で報告を終わります。

(須田教育長)

よろしいでしょうか。

－異議なし－

ちなみに今年度は西明寺小学校をコミュニティスクール導入に向けてのモデル校としましたが、来年度は西明寺小中学校に拡大しまして、コミュニティスクール導入に向けてのモデル校にして、来年度はさらにモデル校を変えていき、現時点で5年後を目処にコミュニティスクール導入を現在では考えています。

その他ということで、いじめ、不登校対策についてお願いします。

(伊藤北浦教育文化研究所長)

1月のいじめ、不登校の状況について報告いたします。最初にいじめについてです。小学校5件、中学校5件、計10件の認知件数の報告がありました。

次に1月の不登校児童生徒についてです。小学生が1名、中学生が14名、計15名となっております。残念ながら、先月と比べて中学生が1名増えております。

以上で、1月のいじめ、不登校の状況の報告を終わります。

(須田教育長)

いじめ、不登校について何かご質問ありますか。

－質問なし－

(須田教育長)

それでは、令和4年度仙北市の教育について、先月委員の皆様には、来年度仙北市の教育の冊子についての内容や体裁について何かご意見、ご提案がありましたら、田口委員からお願いします。

(田口委員)

この冊子ができてから10年くらいなるのでしょうか、熊谷前教育長が是非必要だということで、当時作られたということですが、そのときから教育委員会の内容を知るための重要な要綱として、機能を果たしてきた冊子であろうと思います。内容に関しては、特にありませんけれども、当初と比べると、スポーツ振興課と文化財課が移管され、紙面のページ数がかなり減っているということで、今後、その部分の内容をさらに充実させてページ数を増やすということはなかなか難しいと思いますし、必要なもの、必要でない情報等がありますから、そこら辺のことを精選しながら、紙面を工夫されて今日に至っていると思います。私からは、もし可能であれば、1点だけお話しさせていただきます。それは、9ページの北浦教育文化研究所の内容でございます。このページは、10年前とほぼ変わっていないと思います。当時の内容に新規の事業等が加わったとは思いますが、ほぼ変わっておりません。日頃の取組、業務内容等を考えますと、かなりの業務内容になっておりますし、さまざまな取組がなされておりますけれども、非常に事業内容についても項目のみで、業務の中身、成果、実績等があまり触れられていない、研究所の取組があまり具体的な中身が周知されていないというようなことを感じているところでございます。ずっとページをめくっていくと、生涯学習課の各機関の取組については、前年度の実績が書かれています。行事の参加人数など簡略化された形で、しかも、その実績が分かるように数値として示されておりまして、事業に対して昨年度の実績はどうだったのかを一目で分かるようなそうした内容が盛り込まれていますので、可能であればですが、研究所も様々な事業をしているわけですので、前年度の実績について示せるもの、示せないものがあるかと思いますが、情報として出せないものもありますので、そこら辺を鑑み

ながら、事業後の取組について、全体の取組としてのその実績、あるいは、主な事業の中身の実績について、若干前年度の成果を数的に簡単に結構ですので、示せるものについては示した方がいいのではないかなと思ったところです。事業内容の中身についても、例えば学校訪問による指導援助がありますけれども、実際、何校ほど訪問して、どのような内容の指導が行われたのか、教育調査の実施、分析、活用とありますけれども、この分析作業等はかなりの業務になっているわけですので、具体的に示せるものと示せないものと内容あるかと思えますけれども、いつ頃どういう委員会を開いて年間こういった形でやったとか、それをホームページに出しているだとか、そうした簡単な実績で結構ですので、可能な範囲で示せるものについては、示していただければ、内容が充実するんじゃないかなと思います。以上です。

(須田教育長)

ありがとうございます。伊藤所長いいですね。よろしくお願いします。

橋本委員、お願いします。

(橋本委員)

その年度に新しい取組があった場合は、それを追加するような形で、現在のスタイルでいいのではないかなと思います。令和4年度は学校の適正配置に関する文言を入れた方がいいと思います。それから、もう一つですけれども、これは仙北市の教育に載せることがいいことかどうか分からないですけれども、今年度各小中学校の学校報をいただいております。各学校では、それぞれ特徴のある学校報作りに努めていただいていると思います。ということで、各小中学校で学校報の充実に向けた取組を行っています。ということをごくこの場所に挙げることであれば、挙げていただければと思います。以上です。

(須田教育長)

坂本委員、お願いします。

(坂本教育長職務代理者)

コロナ禍の教育現場に必要なGIGAスクールの取組についてと、学校適正配置についても掲載できる範囲でお願いしたいと思います。あと、19ページから28ページの社会教育施設のフォントを統一していただければと思います。

(須田教育長)

細川委員、お願いします。

(細川委員)

先程の橋本委員さんが申し上げたとおり、私も同じ意見なので、何か特別な動きがあったときには、事業がありましたよということの内容濃く書いていただければありがたいと思います。

(須田教育長)

今、委員の皆様からご提案いただいた内容については、事務局で前向きに検討していただきたいと思います。

次に教育委員会定例会会議録のホームページ公開について、湯澤課長お願いします。

(湯澤教育総務課長)

私の方から、会議録のホームページ公開についてと、来月の定例会等の日程について、二つお話をさせていただきます。会議録のホームページ公開についてということで、令和3年第18回仙北市教育委員会定例会会議録をご覧ください。

－資料により説明－

誤字や脱字、お気付きの箇所等ございましたらご連絡くださるようお願いいたします。

もう一つ、来月の定例会等の日程についてですけれども、学校の方の管理職の内申関係で、3月1日の午前9時から教育長室で臨時会を開催させていただきたいと思っております。

す。それと、3月定例会の日程ですけれども、第3木曜日ということで、3月17日に開催予定となっておりますけれども、ちょうど同じ時期に、教育委員会の職員の人事につきまして、定例会に併せた形で定例会の前に臨時会を開ければと思っております。予定では、3月17日ごろに総務部の内示の日程になりそうなので、まず17日の午後臨時会、定例会が午後2時からを第一候補として考えております。ただ、場合によっては1日遅くなることもあるかもしれませんが、今の時期ですとはっきりできませんので、確定次第、委員の皆さんに変更も含めまして連絡したいと思っておりますので、よろしくをお願いします。

そうすれば、3月1日9時からでよろしいでしょうか。

－異議なし－

(須田教育長)

3月1日9時からよろしくをお願いします。

最後に仙北市の小中学校の現状ということで次長から、今日も白岩小学校、角館小学校、桧木内小学校で発表する内容について、どのような内容を発表するかについて、発表してもらいます。

(鈴木教育次長兼学校教育課長)

本日は、仙北市の小中学校の現状ということで、1つ目は児童生徒数について、2つ目は校舎について説明いたします。そして、本日のゴールですけれども、子どもに夢を地域に輝きをより充実した教育環境を目指してということで、みんなで考えていきたいと思えます。少しの時間ですけれども、よろしくをお願いします。

私たちが住んでいる仙北市は平成17年に田沢湖町、角館町、西木村が合併して誕生しました。合併当時の人口は32637人、現在は24783人となっております。

仙北市の小学校の児童数をお知らせいたします。角館小学校以外は、1学年1学級、いわゆる「単級」と呼ばれる状態です。

続いて、今後の小学校の児童数の推移です。令和9年までは、出生数が分かっているため、このように推移する予定です。白岩小学校、桧木内小学校は、複式学級が、1から2になる予定です。令和9年には、西明寺小学校で複式学級が生じる予定です。下の参考は、コンピュータがはじき出した令和12年からの将来推計です。令和22年には、生保内小学校で複式学級が生じる予測が出ています。

続いて、中学校の生徒数、学級数です。角館中、生保内中学校以外は、1学年1学級の単級です。

これは、中学校の生徒数の推移です。令和4年度からは、角館中学校以外は、1学年1学級の単級となります。令和8年の5校の合計人数は447名ですが、1学年4学級の人数となります。令和13年の合計人数は330名で、ここから1学年3学級となります。桧木内中学校は令和17年には複式学級となることが予測されます。

このような状況に対応するため、学校適正配置検討委員会では、平成28年に、仙北市学校適正配置に関する提言書を策定しました。①～③になった場合に統合の検討に入るべき状況としました。

その結果、平成30年から桧木内地区、中川地区におきまして、意見交換会を開催し、中川小では令和2年度に角館小と統合しました。桧木内中は意見交換会を継続しています。白岩小では、3月に意見交換会を開催予定です。

こちらは、学校で出すときには、「?は、いったいどういう数字でしょうか」とクイズ形式で出すのですけれども、実は75というのは、令和元年度の出生数です。そして、80は令和2年度の出生数、そしてまた80ですけれども、こちらは令和3年度の12月までが65人、1月～3月までの出生予定者が15人ということで80人の予定です。

平成28年の学校適正配置の検討委員会で協議した時には、出生数143人を基準として考え

ていました。しかし、平成30年度98人、令和元年度75人、令和2年度80人、令和3年度は80人の予定であり、少子化が加速度的に進んでいます。

このグラフは小学校の児童数の将来推計です。青線はコンピュータがはじき出した将来推計です。令和7年は全部の小学校の人数を合わせますと、839人と予測されています。しかし、今までの出生数から考えますと739人となり、100人の誤差が出ています。これを考えると、赤の線は今後どのようなラインを描くのでしょうか。まさに予想以上に少子化が加速しているのです。

参考ですが、文部科学省は適正規模を12から18学級としています。1学年3学級程度の学校です。令和元年度からの仙北市の出生数を考えますと、小学校1校、中学校1校であれば、1学年3学級程度になります。また、この学級数を基に、教職員の定数が決まります。

再編しない場合の仙北市の小中学校の規模ですが、現在の適正規模の学校は、角館小学校だけです。令和9年以降は、適正規模の学校はなくなります。令和22年には複式学級となる学校が4校となります。

まとめとしまして、少子化が加速度的に進んでいる、複式学級が設置される小学校が増加、中学校でも複式学級が設置される可能性があり、ということが考えられます。皆さんはどんなことを考えるでしょうか。

校舎について説明いたします。生保内小、神代中、西明寺中、桧木内中は築40年以上が経っています。生保内中、角館中は築30年以上、白岩小、桧木内小は築20年以上が経っています。

校舎の外壁ですが、このようにひび割れが見られるところがあります。また屋根の防水シートは劣化により雨漏りしているところもあります。

こちら屋根や外壁に劣化が見られます。また屋内の天井に劣化が見られるところもあります。こちら屋根や外壁にひび割れが見られます。しかし、躯体は健全であり、耐震もクリアしています。

そこで、令和2年度に、仙北市学校施設長寿命化計画を策定し、建築後20年以上を大規模改修、建築後40年以上を長寿命化改修としました。この計画では、5年間の年次計画を立て、長寿命化改修、大規模改修のほかに、施設整備費、維持修繕費、光熱水費、委託費等を含めて、5年間で47億円、年間9億円超えの費用がかかることが分かりました。ちなみに、横手北中学校の新築校舎は25億円、横手明峰中学校の新築校舎は27億円ほどかかったそうです。現在、施設整備費、維持修繕費等で3,000万程かかっています。今後、長寿命化改修、大規模改修を進めていきますと、毎年9億円掛けて11校を改修するのか、それともシンボル校的な新校舎を建設していくのか財政とも相談が必要であります。

文部科学省では、令和の日本型学校教育の構築を目指して、すべての子供たちの可能性を引き出すために、個別最適な学び、協働的な学びの実現を目標としています。また、仙北市の現状として、加速度的な少子化、校舎の劣化問題が出てきました。文部科学省の考えと、仙北市の現状とを合わせて、仙北市学校適正配置再編計画を策定したいと考えています。

学校適正配置再編計画の運営の予定ですが、今日から市内小中学校の保護者への現状の説明を行います。4月には、仙北市学校適正配置準備室を設置し、そこにあるそれらのようなことを行います。令和8年に学校適正配置再編計画、実施計画を策定する予定です。

再編計画を策定するために、基本方針を3つ考えています。そこに掲げているものです。

仙北市としての適正配置の視点を考えました。①通学に関する諸条件を考慮する。②学校建設、大改修について、妥当性を慎重に検討する。③適正規模、配置の両面から、学校再編を検討する。

1月25日に市役所職員若手20代から30代の研修会を“持続可能な学校のあり方”というテーマで行いました。職員からは、複式学級の学校を増やすより、学校再編が必要ではないか。また、少人数学校、のメリット、デメリットについても協議が行われました。そして最終的には、学校のあり方と共に、少子化の根本的な解決、子育て環境の充実、親世代の雇用、住環境の整備などのま

ちづくりについて、考えなければいけない、という意見が多くみられました。

仙北市内の小中学校の現状を説明いたしました。今後、各校のPTA全体会にて、保護者に説明をしていきます。

ご静聴どうもありがとうございました。

(田口委員)

プレゼン、ありがとうございました。これまで、話し合ってきた現状については、網羅されていると思いますし、資料も精選されていると思いました。市全体の状況について、まとめられておりますけれども、どうでしょうか、各学校で個別にお話しされる時には、児童数や校舎の劣化については、もう少し、クローズアップしたプレゼンの場面があってもいいのかなど。網羅的にされているので非常に小さくて、手持ちの資料にも記載されているかもしれませんが、プレゼンで表を写すと、どうしても内容が細かくてほとんど数値的なことが分からないので、例えば今日の白岩小には間に合わないかと思うので、角館小から個別の計画があるといいと思いました。自分の学校はじゃあどうなのかということに視点を置いて保護者は聞くとお思いますので、そうした視点でその部分があれば、もっとその学校のこれからの推移がインパクト的に浸透していくのかなと思いました。同時に、学校の個別の修繕が必要な状況についても仙北市全体の学校の様子、どの学校がどの程度痛んでいるかということを書真では分からないわけですが、特に必要な学校については、こういう部分については、現状はこうだと当該学校の状況について示せば、保護者にとっても状況が理解しやすいんじゃないかなと思います。

(橋本委員)

田口委員がおっしゃったことと同じですけれども、それぞれの学校で説明会をするときに、その学校の児童数や学校施設の状況をもう少し訴えるようにするといいと思います。説明を聞いていますと、これでは将来を考えないといけないなという気持ちにみなさんなるのではないかなと思いました。

(坂本教育長職務代理者)

大変分かりやすい資料とプレゼンでした。特に、仙北市全体で出生数がこれだけしかないという現状は、予想はできていても、数字を見せられると、「ああ、そんなんだ。」という実感がありました。さらに、子どもの数の問題、施設の老朽化の問題、それから国ではこのような動き、仙北市ではこのような、というそれぞれの状況も分かりまして、大変に知りたいことが全て網羅されていたと思います。

地域に帰ってみますと、やはり自分の地域、自分の子どもの地域、ということに特化した情報ももう少し必要かなと思いました。例えば、白岩小を例でいきますと、白岩小学校としては、この数値だけでも、中学校へ行く、角館小学校と一緒に角館中学校に進学するわけですから、そこも含めて小学校には、今後の中学校の状況等も含めて、その地域のもう少し詳しい情報があれば有り難いかなと思いました。非常に分かりやすかったです。ありがとうございました。

(細川委員)

プレゼンテーション、丁寧に説明いただきまして誠にありがとうございました。私も委員の皆様がおっしゃっていることと一緒になんですけれども、やっぱり自分の子どもたちが通っている学校、進学して上がる中学校に父兄の人たちは一番興味があると思います。私も保護者として同じなので、そこを重点的にお話ししていただければ、保護者の人たちに耳を傾けていただけるとお思いますので、全体的なことになると、どうしても客観的にしか見れないと思うので、各学校に特化したものを説明いただければいいと思います。以上です。

(須田教育長)

ありがとうございました。

(高橋中央公民館長)

中央公民館の図書コーナーの貸出の件ですけれども、学習資料館等のシステムについて、職員の方に講習に来ていただきまして、システム等の使い方を中央公民館の職員が習っておりまして、今度の3月1日の広報の生涯学習ページに図書コーナー開設しております。図書館、資料館の資料もお取り寄せできますということ載せて周知を図りたいと思いますので、お知らせまで、よろしくお願いいたします。以上です。

(信田市民会館長兼田沢湖図書館長)

田沢湖図書館で桜木内出張所に図書コーナーを2月に設置いたしまして、そちらからも貸出できるようにしていますので、よろしくお願いいたします。

(須田教育長)

それでは以上をもちまして、令和4年第2回仙北市教育委員会2月定例会を閉会いたします。

(閉会宣言：午前10時43分)